

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	New Discovery English Communication Ⅱ	コⅡ330

1 内容

- ・「過去完了」「分詞構文」「仮定法」「関係副詞」など、I 巻で扱ったもののうち定着が弱い傾向のある文法事項を再度取り上げており、学習者が高等学校における学習内容をくり返して学習できるよう配慮されている。
- ・題材は、「異文化相互理解」「言語」「平和」「芸術」「自然」「人権」「日常生活」「スポーツ」など、学習者にとって意外性があり、興味深く、知的好奇心を喚起するものを取り上げている。
- ・Work Together! や Action! など、コミュニケーション活動を行う箇所が随所に設けられており、英語で授業を進めやすい構成となっている。

2 分量・構成

【導入部】

- ・Get Ready には本文導入のための英語による設問が用意されており、動機づけの工夫がされている。

【本文及び練習問題】

- ・各セクションは見開き完結型の構成を採用しており、学習する範囲が一望できるようになっている。
- ・各セクションの語数は 110～140 語程度で、I 巻（90～130 語程度）から段階的に分量を増しており、学習者の学習負担に配慮されている。
- ・新出文法事項が出てくる英文には記号（SG：Study Grammar!）がつけられており、学習者への便宜が図られている。
- ・Check It! の A は本文の核となる内容を問う英問英答問題で、本文の内容理解を徹底できるように工夫されている。B は英語の音声を聞いて本文内容の正誤を問う問題で、本文の内容理解をより確実にできるように配慮されている。
- ・Study Grammar! には新出文法事項が簡潔にまとめられ、コミュニケーション能力を支えるための文法指導に有用となるように工夫されている。
- ・Drill では、新出文法事項を用いた確認問題を通じて学習者が確実に言語材料の確認・定着を図れるように工夫されている。
- ・Express It! では、新出文法事項を用いた自己表現活動を通じてコミュニケーション活動ができるように工夫されている。

【本文脚注】

- ・熟語や重要表現の意味の提示に加えて、本文中の代名詞や語句について具体的内容を問う問題（Q）があり、本文で読み取った内容を確実に理解できるように工夫されている。

【課末】

- ・**Grammar Point**：新出文法事項のまとめと補充を行うことができる。図解を多く用いたり、関連する事項をまとめて提示したりすることで、学習者が効率的に学べるように配慮されている。
- ・**Grammar Practice**：新出文法事項の練習・確認問題。A, B, C の 3 つのパートは、それぞれ異なる問題形式となっている。多様な問題形式に慣れさせることで、新出文法事項の理解と定着を図れるように工夫されている。
- ・**Vocabulary Check**：本文ページの脚注で扱った熟語や重要表現の確認問題。本文ページで学習した熟語や重要表現の確実な定着を図れるように工夫されている。
- ・**Sum Up!**：本文の要約文の穴埋め問題。本文の概要や要点をとらえ、表現にまで高めるための工夫がされている。
- ・**Work Together!**：各課の内容に関連したコミュニケーション活動を行う。段階を踏んだ構成となっているので、無理なく自然なコミュニケーション活動を行うことができる。

【Reading の課】

- ・Warm-Up では複数の問いに答えることにより、読解のポイントをあらかじめ押さえてから読むことができる。
- ・After Reading には、内容理解を深める問題に加え、自分の考えや意見を書く活動が含まれている。読んだことに基づいて自分の考えを書くことができるので、表現力の育成に効果的である。

3 体裁・表記など

- ・イラスト及び写真は全てカラーで、内容理解の一助となるように配置されており、学習者に配慮されている。
- ・行間、字間は適度な広さで読みやすい。

4 その他

- ・**Action!**：全体で 5 箇所に配置されている。スモールステップを踏んだ構成となっており、無理なく実用的な表現を用いたコミュニケーション活動が行える。
- ・**付録**：①には各課の Grammar Point における新出文法事項を用いた例文が、②には本文脚注の熟語や重要表現を用いた例文がそれぞれ日本語訳とともに掲載されており、学習者が既習事項を効率的に復習し、確実に定着させることができるように配慮されている。